

# 満3歳児の受け入れ

学校教育法では、幼稚園には満3歳から入園可能となっているが、国公立幼稚園の6.4%、私立幼稚園の63.4%が満3歳児を受け入れている。満3歳児を受け入れる学級は、私立幼稚園では4割が満3歳児だけのクラスを設けて受け入れている。

学校教育法では、幼稚園には満3歳から入園可能となっている。本節では、幼稚園に対して、満3歳児の受け入れ状況についてたずねた結果をみていくことにする。

図2-4-1は、満3歳児の受け入れ状況を、国公立幼稚園・私立幼稚園で比較した結果である。国公立幼稚園では、89.7%が「受け入れている」と回答している。一方、私立幼稚園では、63.4%が「受け入れている」と回答している。私立幼稚園の6割は、3歳の誕生日を迎えたら（正確には誕生日の翌月から）、4月を待たなくても入園できるような体制を整えていることがわかる。保護者の

要望に応えたものなのか、園児の確保が課題となっているからなのか、理由は本調査からはわからない。

満3歳児を受け入れている園に、今後の受け入れ予定をたずねた結果が図2-4-2である。国公立幼稚園は、91.2%が「受け入れる予定はない」と回答している。私立幼稚園も、70.0%は「受け入れる予定はない」と回答、「受け入れる予定である」は6.5%、「検討中である」は18.9%であった。現在、満3歳児を受け入れている園の多くは、今後も受け入れる予定はないことがわかった。

図2-4-1 満3歳児の受け入れ状況（幼稚園）

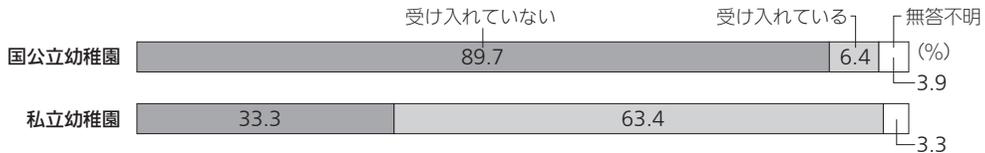
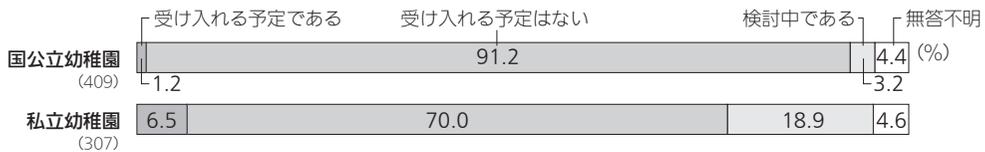


図2-4-2 満3歳児の今後の受け入れ予定（幼稚園）



注1) 満3歳児を「受け入れている」と回答した園のみを分析。  
注2) ( )内はサンプル数。

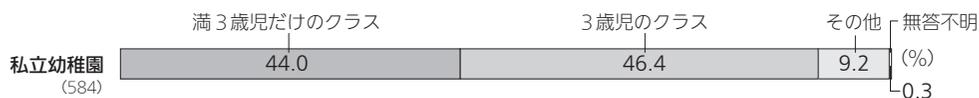
## 第2章 保育・教育的な活動

では、いつ入園してくるかわからない満3歳児を受け入れている園はどのように学級を編成しているのだろうか。図2-4-3は、満3歳児が入園したときに入る学級についてたずねた結果である。国公立幼稚園は、該当する園が29園と少ないため、参考値であるが、75.6%は「3歳児のクラス」に満3歳児を受け入れると回答している（図表省略）。私立幼稚園は、「満3歳児だけのクラス」が44.0%、「3歳児のクラス」が46.4%である。私立幼稚園の4割は、満3歳児だけを受け入れる学級を設けていることがわかる。

では、満3歳児を受け入れている私立幼稚園は、何人くらい受け入れているのだろうか。図2-4-4はその結果を、受け入れている

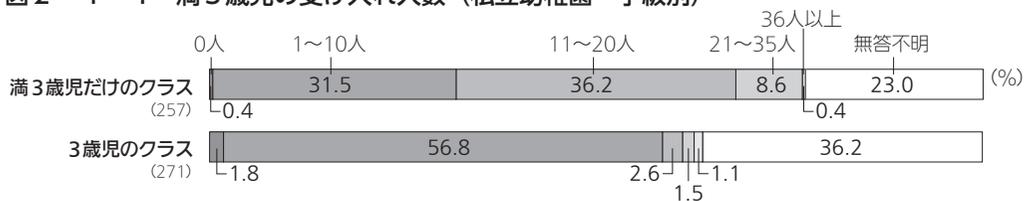
学級別にみたものである。ただし、本調査は2012年10月～12月にかけて行っており、調査票ではいつの時点での受け入れ人数を記載するかを定義していないため、参考値としてとらえていただきたい。結果をみると、満3歳児だけのクラスを設けている園のほうが、受け入れ人数は多く、「11～20人」が36.2%であった。「3歳児のクラス」に受け入れる園は、受け入れ人数は「1～10人」が多く、56.8%であった。また、この結果は、「無答不明」が2～3割あり、園の運営者にとっても、年度途中で随時入園してくる満3歳児が何人いるのか、受け入れた学級の構成によってもわかりにくいものと推定される。

図2-4-3 満3歳児の入る学級（私立幼稚園）



注1) 満3歳児を「受け入れている」と回答した園のみを分析。  
注2) ( )内はサンプル数。

図2-4-4 満3歳児の受け入れ人数（私立幼稚園・学級別）



注1) 満3歳児を「受け入れている」と回答した園のみを分析。  
注2) ( )内はサンプル数。